

やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい

かがやく山内西の子

山内西小 HP:<http://cms.saga-ed.jp/hp/yamauchinishi-e/>

武雄市立山内西小学校

学校だより No. 9

令和元年6月3日発行

文責：校長 石橋佳樹

※「学校だより」はホームページからもご覧いただけます。鮮明な画像でご覧ください。

【教室の窓から】～子どもの学び紹介～



ある日の教室。ふと出会った光景を書きます。本校職員は、子どもたちのやる気と笑顔を思い浮かべながら、日々がんばって指導を続けています。日頃の授業づくりの工夫や子どもたちの学びの様子を時々お知らせしていけたらと思っています。気軽に目を通してみてください。こんな「つまかさね」が、必ず実を結ぶのです。

今回は2年1組。国語の授業の一コマです。めあては、「大切なことを落とさずにメモする力をつける」学習でした。お知らせしたいポイントは2点。

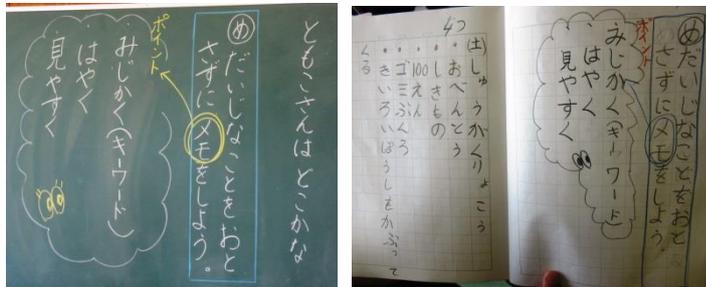
1 しっかり話を聞き、互いに学び合う気持ちと姿勢が整っていること。

言葉は心。学習をより深め、より力強くするための大切な要件として、「みんなが、体と心に向けて人の話を聞くこと」。これが第一に挙げられます。

ここでは、一人一人の発言にみんなが耳を傾けてうなずいたりつぶやいたりしていました。写真にもあるように、時にはとなり同士で考えを伝え合い、学習のまとめを行っているところが印象的でした。



2 板書とノートの一体化



「分かりやすく短い言葉で書かれた板書と、それをしっかり書きとどめるノートの美しさ」担任と子どもの、心と呼吸がそろっている証拠です。「わかりやすく、美しい」このことが、子どもたちの学習を、やさしく魅力あるものにしてくれます。

★一緒に見直してみましよう！

5月30日(木)に、佐賀県の特別支援教育研修会があり、佐賀大学の日野久美子教授からこんな話(概略)を聞くことができました。

「私たち大人は、(教師・保護者ともに)つつい子どもが望んでいる学びが何かをしっかりと考えずに、軽々しく言葉かけをしていないでしょうか。このことを

常に振り返る必要があります。日頃の言葉かけを見直してみましよう。」と。私も、ああそういえばあの時…。と反省させられる場面がいくつも浮かんできました。ご家庭でも、一度振り返っていただくと、今後の見守りの参考になるのではないのでしょうか。

